



## 日野デュトロ Z EV特集

# 「心豊かなくらしと共生の社会を創ります」を理念に、 カーボンニュートラルの実現に向けて 日野デュトロ Z EVを導入

食品から生活雑貨関連、住まい関連、共済(保険)、旅行、電力まで幅広いサービスを取り扱い、1都12県を活動エリアとするパルシステム生活協同組合連合会(生協)。宅配においては、1990年代初頭、全国の生協に先駆けて個人単位で利用できる「個人宅配」を実現しています。

“温室効果ガス排出量ゼロ”はグループとして掲げている大きな目標であり、同連合会の会員生協であるパルシステム東京ではその達成に向けて、小型BEV※トラックの日野デュトロ Z EVを導入。配送業務を受託し同車両の運行を担う株式会社 パルラインは、環境に配慮した走り方で産地と生協組合員の方々を結び、安心・安全な商品をお届けしています。

※ BEV: Battery Electric Vehicle

## 環境負荷のない持続可能な物流に貢献するために

パルシステムでは、グループの共通理念である「心豊かなくらしと共生の社会を創ります」のもと、自然共生・循環型社会の実現に向けた取り組みや、再生可能エネルギーから調達した電気を供給する事業を展開するなど、脱炭素社会づくりを進めています。その中で2030年にはCO<sub>2</sub>の排出量を13年度実績から46%削減、2050年までにはカーボンニュートラルの実現を掲げており、これら目標の達成を目指し、今年7月、日野デュトロ Z EVを導入しました。パルシステム東京沼島センターに納められた車両は、株式会社 パルラインが

運行を担い、BEV車両によって商品の積み方や積載量がどう変わるのか、また1回の充電当たりの走行距離などを検証し、ルートづくりの最適化を進めています。

「電動車両はまだ一般的ではなく事業者としてハードルは高いですが、“会議室で議論ばかりしていてもしょうがない。とにかくやってみないと何も始まらない”との思いから導入に至りました」と語る太田賜嗣夫代表取締役社長。環境負荷のない持続可能な物流の実現を目指して、今後も同グループではBEV車両を含めた環境対応車両の導入を推進していきます。

株式会社 パルライン  
住所: 東京都江東区千石1-4-9  
代表者: 代表取締役社長 太田賜嗣夫  
設立: 1987(昭和62)年11月  
従業員数: 3,503名(2023年7月現在)  
保有台数: 484台(2023年7月現在)  
<https://www.palline.co.jp/>



## 日野デュトロ Z EV ここに期待!



代表取締役社長  
太田賜嗣夫様

### 電動車両の運用をビジネスモデルとして確立させることがテーマです

ドライバーが荷室に上がる際、ステップ式のものだと滑って転んでしまう危険もありますが、Z EVだと低床構造のため乗り降りが非常に安全かつ楽にできるのではないのでしょうか。また従来の車両は、エンジンの上にドライバーが乗っているような構造だったため、熱や振動が伝わりやすかったですが、Z EVはその辺が大きく異なり、ドライバーにとって“優しい車両”になったという印象です。業界全体が人手不足の中、労働力確保が非常に難しくなっています。その中で女性や高齢者にも活躍いただくなど、働き方の幅を広げていかなければなりません。そういう意味でも、この車両は求人においても有利なアピールポイントになると期待しています。

また最終的に、電動車両でも配送事業がビジネスとして成り立つように運用の部分で知恵を絞っているところです。イニシャルコスト面では既存車両と比べまだ差がありますが、Z EVによる配送がどの程度事業として成り立つのか、データや経験を積み重ねて検証していきたいと思っています。コスト面との折り合いを付けながら、ビジネスモデルとして確立させることが大きなテーマです。

## 日野デュトロ Z EV ここがポイント!

### ●超低床により安全な作業に貢献

通常トラックは後輪駆動のミッドシップですが、日野デュトロ Z EVは前輪駆動を採用。これにより超低床を実現し、荷室への乗り降りを安全かつ楽に行えます。



超低床により、ワンステップで荷室への乗降が可能。安全性と荷役性の向上を両立しています(床面上高:480mm)。

### ●乗降性に優れ、ハンドルが軽くイージードライブを実現

エンジンがない分、運転席の着座位置を低く設定できているため乗り降りが楽々。またハンドルも軽く、女性や高齢者の方でも楽に操作できます。

### ●静かな起動音で周辺環境に配慮

動力源はモーターのみで音が静か。住宅地や早朝の配送に配慮しています。



ドライバーが見やすいフル液晶のコンビネーションメーターを採用。走行中に使用するスイッチ類は、使い勝手に配慮した配置になっています。

### ●充電方式は普通充電と急速充電を用意

配送後から始業までは普通充電、配送中の休憩時には急速充電を使用するなど、2つの充電方式に対応しています。



充電口はフロント部分に設置。またリチウムイオンバッテリーは、ミッドシップ・低重心を考慮しホイールベース間にレイアウトしています。